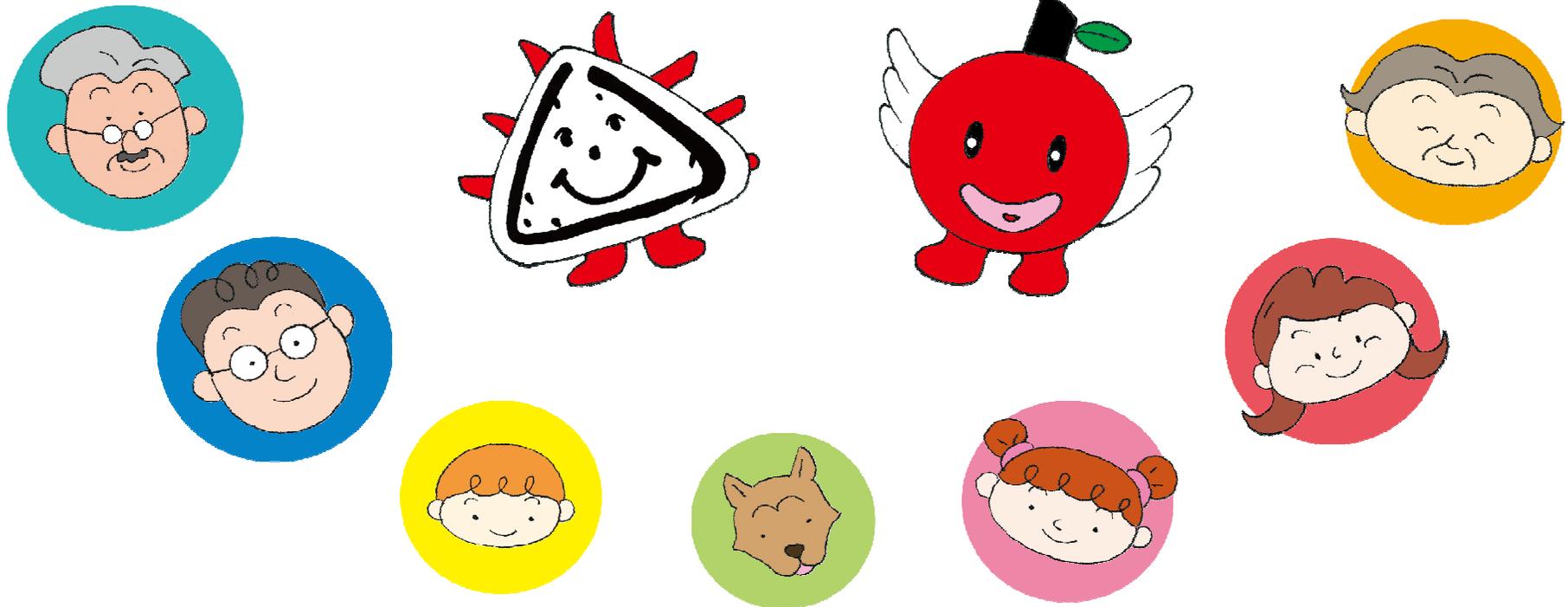


# 藤崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略

施策パッケージ【平成28年度実績および平成29年度目標】



藤 崎 町

## 1. 藤崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略施策パッケージについて

藤崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略施策パッケージは、平成27年度から平成31年度までの5年間を計画年度とする藤崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略に示した主要施策に基づき、具体的に実施する事業等を定めたものです。施策パッケージには、藤崎町総合計画基本計画（ふじさき未来・夢プラン）の実施計画（アクションプラン）に定めた事業や新規に実施する事業の中から、数値目標を設定でき、総合戦略の推進やKPI達成に有効と考えられる事業を掲載しており、PDCAサイクルにより効果検証することとします。

【KPI】 key performance indicator

重要業績評価指標。業績評価を定量的に評価する指標。達成目標に対し、どれだけの進歩があったかを明確にする指標であり、これをもとに進捗状況と業務改善を行う。

【PDCAサイクル】

事業の推進やリスクマネジメントを円滑に行う手法。Plan（計画）－Do（実行）－Check（確認）－Action（行動）の4段階の構成となっていることから、PDCAと称されている。

## 2. 施策パッケージの見方について

### (1) 担当課室等による目標設定および検証

- 評価指標・・・事業の効果を検証する指標
- 現状値・・・年度当初における評価指標の数値
- 目標値・・・年度内の事業展開により目指すべき評価指標の数値
- 実績値・・・年度末における評価指標の実績数値

○事業効果・・・目標値と実績値を比較し、判定基準により事業の効果を5段階で検証します。

- A 地方創生に非常に効果的であった。（実績値が目標値に近い場合や上回った場合など）
- B 地方創生に相当程度効果があった。（実績値が目標値の7割～8割程度の場合など）
- C 地方創生に効果があった。（実績値が目標値を7割程度より下回っても、事業開始前よりも状況が改善した場合など）
- D 地方創生にあまり効果がなかった。（実績値が目標値を7割程度より下回り、事業開始前と状況が同じ場合など）
- E 地方創生に効果がなかった。（実績値が目標値を大きく下回り、事業開始前よりも状況が悪化した場合など）

○今後の方針・・・事業効果を検証し、次年度以降の事業取組みの方針を決定します。また、その理由について詳細を記載します。

1. 事業をさらに発展させる。
2. 事業を継続する。
3. 事業内容を見直す。
4. 予定通り事業終了。
5. 事業を中止する。

(2) 藤崎町総合戦略会議による検証および評価

○事業評価・・・事業効果及び今後の方針を検証し、地方創生の推進に有効であるかを3段階で評価します。

- A 総合戦略の推進に有効である。
- B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効であると言える。
- C 総合戦略の推進に有効とは言えない。

<基本目標①> 地域産業に魅力ある“しごと”を創生する

概要	計画期間の数値目標			達成状況(実績値)					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32
地域資源を活かしながら、地域農業6次産業化、観光コンテンツ創出、産業強化、戦略的雇用支援等を推進し、地域に魅力あるしごとを創る。それにより、皆が地域に定着し、輝いて活躍できる基盤づくりを進める。	■経営体あたり農産物販売金額	460万円(H22)	現状より増加(H32)	未公表(RESAS)	—	—	—	—	
	■観光入込客数	247,329人(H26)	310,000人(H32) ※5年で25%増加	265,670人(H32) (観光入込客数調べ)	244,900人(H32) (観光入込客数調べ)				
	■食彩ときわ館利用者数	150,793人(H26)	181,000人(H32) ※5年で20%増加	152,767人	147,498人				

※5年毎公表

(1) まちの未来を耕す農業の振興

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況(実績値)					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32
藤崎ブランド農産物 みんなで発信！みんなで応援！	■新規就農者数	18人(H26)	48人(H32) ※5年で30人増加	24人(H32) (新規就農者支援制度利用者数累計)	28人(H32) (新規就農者支援制度利用者数累計)				

No.	事業名/事業概要・目的/取組内容	平成28年度				平成29年度		担当			
		重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)		
		評価指標	目標値(現状値)	実績値					評価指標	目標値(現状値)	
1	<b>「紅の夢」産地化推進事業</b>	事業概要・目的 赤果肉りんご「紅の夢」の栽培技術について、弘前大学農学生命科学部との共同研究並びにその成果の啓蒙・普及を通じて産地化を推進し、将来的な6次産業化に向けた安定的な生産体制を構築する。	取組内容 紅の夢の栽培技術指導や産業化セミナーを開催し、安定的な生産体制を構築する。	紅の夢作付者数 20人 (19人)	25人	A 地方創生に非常に効果的であった	5 事業を中止する 【方針の詳細】 紅の夢研究会として平成29年度から独自に活動をしていくこととなっている。	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】	/	/	農政課
2	<b>藤崎町地域産業振興拠点整備事業</b>	事業概要・目的 町の優良農産物やふじさき産品を町内外に発信する地域産業振興拠点を整備し、雇用創出や地域経済の活性化を図る。	取組内容 食彩ときわ館に農産物加工、飲食、観光情報発信等の機能を拡充するための増改築を行い、子育て家庭をターゲットにした事業展開を図る。	食彩ときわ館売上金額 170,000千円 (164,114千円)	159,958千円	C 地方創生に効果があった	2 事業を継続する 【方針の詳細】 売上・利用者の実績が前年割れしたが、現在新たな拠点開設に向けた準備を進めている。H29 食彩ときわ館増改築工事 H30 地域産業振興拠点オープン	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効 【特記事項】 実績の減は直売施設としての伸び代の限界が表れているかもしれない。複合的施設としての開業後の伸びに期待したい。	食彩ときわ館売上金額 177,000千円 (159,958千円)	159,500人 (147,498人)	地方創生推進室

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成28年度				平成29年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
3	<b>ふじさき産品開発育成支援事業</b>		ふじさき産品開発数	7品 (7品)	5品	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	ふじさき産品開発数	7品 (5品)	地方創生推進室
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 H28 オリジナルドレッシング5品開発 H29 農家・主婦・事業者等を対象に新規・既存の商品開発支援について募集して実施	【特記事項】 地域の魅力ある資源をたくさん有効活用して事業効果を伸ばしてもらいたい。			
4	<b>藤崎町認定農業者事業</b>		認定農業者数	253人 (249人)	235人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	認定農業者数	253人 (235人)	農政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 認定制度を非認定者に対して周知徹底して目標値に近づける。	【特記事項】			
5	<b>県りんご産業基幹青年養成事業</b>		りんご産業基幹青年養成者数	3人 (3人)	5人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	りんご産業基幹青年養成者数	3人 (5人)	農政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 研修受入人員3名を維持する。	【特記事項】			
6	<b>りんご病害虫マスター養成事業</b>		りんご病害虫マスター養成者数	2人 (2人)	2人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	りんご病害虫マスター養成者数	2人 (2人)	農政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 研修受入人員2名を維持する。	【特記事項】			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成28年度				平成29年度		担当		
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)	
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値					評価指標	目標値 (現状値)
7	<b>りんご剪定士養成事業</b>		りんご剪定士養成者数	2人 (2人)	2人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	りんご剪定士養成者数	2人 (2人)	農政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 研修受入人員2名を維持する。	【特記事項】			
8	<b>りんご減農薬栽培推進事業</b>		りんご減農薬栽培面積数	5,207a (5,101a)	4,085a	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	りんご減農薬栽培面積数	5,207a (4,085a)	農政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 減農薬栽培のPR活動を積極的にを行い、目標値を目指す。	【特記事項】 実績値の栽培面積が減少傾向にあるが、減農薬を推進するという趣旨自体は大きなことであるので、事業を継続してもらいたい。			
9	<b>にんにく優良品種導入事業</b>		にんにく種子育成ほ場面積	135a (100a)	140a	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	にんにく種子育成ほ場面積	135a (140a)	農政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 現状の育成ほ場面積を維持する。	【特記事項】			
10	<b>食料と農業に関する基本協定代表者会議事業</b>		首都圏消費者農業体験交流人口	60人 (58人)	32人	D 地方創生にあまり効果がなかった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	首都圏消費者農業体験交流人口	60人 (32人)	農政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 農業体験企画を見直して目標値を目指す。	【特記事項】 交流人口の拡大は地域にとって必要なことである。人の集め方などを工夫しながら事業を継続してもらいたい。			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成28年度				平成29年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
11	<b>若手農家等育成販路開拓事業</b>		首都圏での直売会参加者数	21人 (20人)	17人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	首都圏での直売会参加者数	21人 (17人)	農政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 若手農家に直売会の参加を促して目標値を目指す。	【特記事項】			
12	<b>りんご「ふじ」発祥の地ブランド化推進事業</b>		ブランドデザイン制作数	2件 (0件)	2件	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	会議参加のりんご生産者数	5人 (3人)	農政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 協議会においてブランド化につながる具体的な事業計画を検討していく。	【特記事項】 当初設定の目標を果たした結果については評価をする。事業効果についての検討を進めつつ継続実施してもらいたい。			
13	<b>特色のある地域間連携産品づくり事業</b>		オリジナル連携産品数	1品 (0品)	2品	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	オリジナル連携産品数	1品 (2品)	地方創生推進室
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 H28 三重県紀宝町との産地連携の実施を双方で確認・オリジナル産品試作 H29 連携事業の具体的な方針・内容を決定して実施	【特記事項】 互いのもつ地域資源を組み合わせることで相乗効果を発揮するよう取り組んでもらいたい。			
14	<b>地域6次産業化推進事業</b>		農産物加工販売実践セミナー参加者数	30人 (49人)	69人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	農産物加工販売実践セミナー参加者数	30人 (69人)	地方創生推進室
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 農産物加工品づくりの実践セミナー等を引き続き実施して、6次産業化の推進を図る。	【特記事項】 セミナーに参加したためになったし、自分で取り組む意欲のわく内容であった。今後の継続的取り組みを望む。			

(2) 魅力あふれる観光の創出

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32
まちを歩き まちを知る 好奇心でまち再発見！	■観光ウェブサイト利用者数	サイト開設 (H27)	500人 (H32) ※5年で500人増加	0人 (年度未開設)	14,574人				

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成28年度				平成29年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
1	<b>観光情報サイト「ふじさんぼ」活用事業</b>		フェイスブック「ふじさんぼ」の「いいね！」数	100人 (0人)	196人 ふじさんぼFBより	A 地方創生に非常に効果的であった	1 事業をさらに発展させる  【方針の詳細】さらなる情報発信のため積極的な取組を行う。	A 総合戦略の推進に有効  【特記事項】	フェイスブック「ふじさんぼ」の「いいね！」数	215人 前年比10%増 (196人)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容									
藤崎町観光情報サイト「ふじさんぼ」を活用し、フェイスブックによるタイムリーな観光情報を発信することにより、町の魅力発信の強化や交流人口の拡大を図る。		「ふじさんぼ」のタイムリーな更新により町の魅力発信を強化する。									
2	<b>ふじさき秋まつり事業</b>		ふじさき秋まつり来場者数	36,750人 (35,000人)	30,000人 観光統計より	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する  【方針の詳細】さらなる町民力の結集のため、町民参加の適う取組を行う。	A 総合戦略の推進に有効  【特記事項】	町民力結集の新たな取組件数	1件 (1件)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容									
町の産業振興・芸術文化の向上・健康増進を目的に、ジャンボおにぎりづくりをメインイベントとしたふじさき秋まつりを開催し、町民力の結集・交流・町のPRを図る。		ジャンボおにぎり等の集客力のあるイベントや町民力を結集したおもてなしにより、イベント来場者を増加させて、町のPRを強化する。									
3	<b>ご当地キャラ活用によるPR活動実施事業</b>		ご当地キャラ活動件数	45件 (43件)	39件	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する  【方針の詳細】ご当地キャラを活用し、町特産物のPRなどを行い、販売力アップやブランド力向上を図る。	A 総合戦略の推進に有効  【特記事項】	ご当地キャラ活動件数	30件以上 (39件)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容									
誘客効果を向上させるツールとして、ご当地キャラ（ふじ丸くん、ジャン坊くん）がイベント等PR活動に参加することにより誘客宣伝・情報発信効果を高める。		ご当地キャライベントや町内のイベント等に出演し、キャラクターグッズ等を配布することで、町の魅力アップにつなげる。									

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成28年度				平成29年度		担当		
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)	
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値					評価指標	目標値 (現状値)
4	<b>観光人材育成プロモーション事業</b>		観光入込客数	279,000人 (265,670人)	244,900人 観光入込客数調べ	B 地方創生に 相当程度効果が あった	2 事業を継続 する  【方針の詳細】 プロモーション事 業の継続により、 観光ボランティア ガイドを育成し登 録者数の増加を図 る。	B 総合戦略の 推進に効果は小 さいが有効  【特記事項】	観光ボランティ アガイド数	1人  (0人)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容									
	人口減少対策の一環として、交流人口の増加を目的とした観光人材育成プロモーション事業を実施する。										
5	<b>ふじさき産品PRプロモーション事業</b>		「ふじさき品質」ウェブサイトアクセス数	2,000件 (0件)	258件	C 地方創生に 効果があった	2 事業を継続 する  【方針の詳細】 H28 ふじさき産品 PRのロゴ「ふじさ き品質」を策定、 年度末に同名のPR ウェブサイトを開 設 H29 ウェブサイ トでの情報発信を 実施	B 総合戦略の 推進に効果は小 さいが有効  【特記事項】 観光情報サイトや 町のホームページ にリンクを貼るな ど、訪問しやすい 体制を整備しなが ら効果を高めて いってもらいた い。	「ふじさき品 質」ウェブサイ トアクセス数	2,000件  (258件)	地方創生推進室
	事業概要・目的	取組内容									
	地元農産物を活用した加工品や既存の地場産品等のPRプロモーションを強化するために、観光ウェブサイトと連動した、ふじさき産品のウェブサイト制作やトータルな魅力を発信するためのPRデザインを作成し、ふじさき産品を発信することで、観光交流人口を増やす。										

(3) 活力ある地域産業の強化

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32
町内の買い物で みんなが緑（円）でつながります！ ■誘致企業数		12社 (H26)	15社 (H32) ※5年で3社増加	12社	12社				

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成28年度				平成29年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
1	<b>プレミアム付商品券事業</b>		プレミアム付商品券の消費喚起額	33,000千円 (33,000千円)	33,000千円 売り切れによる	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	地元事業所での利用率	50% (34.8%)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容									
2	<b>商店街等活性化イベント事業</b>		商店街等活性化 イベント数	2イベント (2イベント)	2イベント	A 地方創生に非常に効果的であった	1 事業をさらに発展させる	A 総合戦略の推進に有効	商店街等活性化 イベント数	3イベント (2イベント)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容									
3	<b>「ふじワングランプリ」事業</b>		ふじワングラン プリ来場者数	3,600人 (3,000人)	10,000人 観光統計による	A 地方創生に非常に効果的であった	1 事業をさらに発展させる	A 総合戦略の推進に有効	エントリーメ ニュー400食完 売店舗の割合	100% (90.9%)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容									

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成28年度				平成29年度		担当		
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)	
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値					評価指標	目標値 (現状値)
4	<b>グルメぐりスタンプラリー事業</b>		スタンプラリー参加者数	200人 (160人)	79人	D 地方創生にあまり効果がなかった	1 事業をさらに発展させる	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	スタンプラリー参加者数	95人 前年比20%増 (79人)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】参加者の減少があったので、周知段階からの積極的な取組と新たな参加店舗や魅力的な賞品提供による参加者増を図る。	【特記事項】実施方法を検討改善することなので、より事業の効果が得られるよう継続実施して様子を見てもらいたい。			
5	<b>企業誘致支援事業</b>		誘致企業数	13社 (12社)	12社	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	新規立地企業数	1社 (1社)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】相談企業への情報提供と提供後の立地意向の確認など間断ない連絡により企業立地を図る。	【特記事項】			
6	<b>特別保証制度保証料補助事業</b>		小口資金保証料補てん制度利用率	99.9% (99.9%)	99.90%	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	小口資金保証料補てん制度利用率	90%以上 (99.9%)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】制度活用が定着しており、利用率が高い状況で推移しているため、事業を継続し利用率の維持を図る。	【特記事項】			

(4) 戦略的な雇用支援の推進

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32
地域のしごとの魅力を みんなで子どもたちに伝えよう！	■起業・創業制度資金の活用件数	0件 (H26)	目標 5件 (H32) ※5年で5件増加	0件	0件				

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成28年度				平成29年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
1	<b>雇用拡大セミナー事業（実践型地域雇用創造事業）</b>		セミナー参加事業所数	20事業所 (0事業所)	62事業所	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	セミナー参加事業所数	28事業所 (62事業所)	地方創生推進室
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 H28年度の実績を受けて、内容の調整と充実を図りながら、H30年度までの継続実施を目指す。	【特記事項】			
2	<b>雇用創出実践メニュー事業（実践型地域雇用創造事業）</b>		ふじさき産品開発数	3品 (0品)	4品	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	ふじさき産品開発数	5品 (4品)	地方創生推進室
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 H28 ふじさき産品4品を開発して公表 H30 新たなふじさき産品の開発と地域事業所への普及	【特記事項】			
3	<b>中学校職場体験事業</b>		職場体験実施校数	2校 (2校)	2校	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	職場体験実施校数	2校 (2校)	学務課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 協力事業所の業種等を検討しながら継続する。	【特記事項】			
	中学生が地元の職場を体験することにより、地元の仕事の良さを学ぶなど、将来的な地元就職につながる支援を行う。										

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成28年度				平成29年度		担当		
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)	
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値					評価指標	目標値 (現状値)
4	<b>青森県未来を変える挑戦資金事業</b>		制度利用率	20% (0%)	0%	E 地方創生に 効果がなかった	2 事業を継続 する  【方針の詳細】 資金の活用実績が ない状況だが、広 く周知を図り、今 後の活用希望を惹 起する。	C 総合戦略の 推進に有効とは 言えない  【特記事項】 起業家向け資金と いうことで利用者 も限られてくると いう事情は理解す る。次年度の実績 に期待したい。	制度利用件数	1件 (0件)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容									
	新たに事業を開始しようとする者、または事業を開始して1年に満たない中小企業者の必要な資金(運転資金、設備資金)の調達について、青森県未来を変える挑戦資金の融資を受けた場合に、信用保証料を補てんする。	県の信用保証料30%補てん後の信用保証料を町が全額補助する。									

<基本目標②> まちの未来を築く“ひと”を創生する

概要	計画期間の数値目標			達成状況(実績値)					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32
豊かな自然や歴史文化、交通利便性の高さなど、町の強みを最大限に活かしながら、町の未来を築く“ひと”を創生することで、誰もが活躍できるまちづくりを推進する。	■定住意識について「転出は考えていない」「将来的に町に戻りたい」と考える人の割合	78.1% (H27)	現状より増加 (H32)	未計測	未計測				
	■町に愛着を感じている人の割合	73.5% (H24)	現状より増加 (H32)	未計測	未計測				

(1) 新しい人の流れをつくる定住促進支援

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況(実績値)					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32
子どもたちが安心して遊べる 地域みんなが見守り隊！	■移住相談件数	0件 (H26)	目標 10件 (H32) ※5年で10件増加	1件	0件				

No.	事業名/事業概要・目的/取組内容		平成28年度					平成29年度		担当	
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価	重要業績評価指標 (KPI)		
			評価指標	目標値(現状値)	実績値				評価指標		目標値(現状値)
1	<b>移住・交流促進事業</b>		移住相談件数	3件 (1件)	0件	E 地方創生に効果がなかった	3 事業内容を見直す  【方針の詳細】 タウンガイドブックによる情報提供に加え、移住等の受入環境のさらなる整備が必要である。	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効  【特記事項】 よそから人を入れる対策は非常に重要。情報提供して相談を待つ実施体制について、今後の方法を検討しながら続けてもらいたい。	移住相談件数	3件 (0件)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容									
2	<b>ふるさと納税事業</b>		ふるさと納税寄附金額	7,000千円 (5,625千円)	13,260千円	A 地方創生に非常に効果的であった	1 事業をさらに発展させる  【方針の詳細】 業務委託等を実施し、業務の省力化を図ることで、よりきめ細かな対応を行い、リピーターを増やしてふるさと納税のさらなる増加を図る。	A 総合戦略の推進に有効  【特記事項】	ふるさと納税者件数	888件 (807件)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容									

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容	平成28年度					平成29年度		担当			
		重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価	重要業績評価指標 (KPI)				
		評価指標	目標値 (現状値)	実績値				評価指標		目標値 (現状値)		
3	<b>弘前圏域空き家バンク事業</b>	弘前市が実施している民間の不動産業者等と連携した空き家バンク事業を、弘前定住自立圏市町村で実施できるかを検討する。	空き家バンクの利用方法や各市町村の役割等について検討を行い、将来的な移住施策につなげる。	空き家バンク事業実施市町村数	8市町村 (1市)	1市	D 地方創生にあまり効果がなかった	2 事業を継続する  【方針の詳細】平成29年度に圏域での協定によりバンク実施を推進する。	A 総合戦略の推進に有効  【特記事項】町の単独でなく、県や広域の施策にのる類の事業はなかなか成果が出にくい傾向が見える。担当課による大胆な事業展開に期待する。	空き家バンク事業実施市町村数	8市町村 (1市)	企画財政課
	事業概要・目的											
4	<b>若者移住すまいづくり補助事業</b>	町内に自らが移住する目的で住宅を建築し、又は新築住宅を購入する若者夫婦に対し、必要な費用の一部を補助することにより、人口の維持と地域の活性化を図る。	土地と住宅を取得=80万 住宅のみを取得 =50万	/	/	/	/	【方針の詳細】	/	新築移住世帯数	10世帯 (0世帯)	建設課
	事業概要・目的											
5	<b>子育て世帯定住促進事業</b>	町に転入し、民間賃貸住宅に入居する子育て世帯に対し、定住促進と子育て支援の充実を図るため、補助金を交付する。	当町に5年以上住むことを前提に転入した子育て世帯に対し、最大2年間、民間賃貸住宅の家賃を助成し、同居する小・中学生に米を支給する。	/	/	/	/	【方針の詳細】	/	補助金等交付決定件数	10件 (0件)	住民課
	事業概要・目的											

(2) 未来を創造する人材の育成

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況(実績値)					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32
地域の愛着やふるさとの誇り 学びながらみんなで学ぼう！	■ジュニアリーダー数	10件 (H26)	15件 (H32) ※5年で5人増加	13人	13人				

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成28年度				平成29年度		担当		
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)	
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値					評価指標	目標値 (現状値)
1	<b>子ども議会事業</b>		議会の仕組みを理解できた参加児童の割合	100%	100%	A 地方創生に非常に効果的であった	1 事業をさらに発展させる	A 総合戦略の推進に有効	子どもまち歩きの実施回数	1回 (0回)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】子どもたちに町への愛着を更に深めてもらうため、子ども議会に代わり、子どもまち歩きを実施する。	【特記事項】			
2	<b>食の体験学習事業</b>		食の体験学習実施学校数	3校 (3校)	3校	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	食の体験学習実施学校数	3校 (3校)	学務課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】各学校の特色を生かしながら継続する。	【特記事項】			
3	<b>子ども総合学習塾事業</b>		子ども総合学習塾参加児童数	660人 (659人)	314人	D 地方創生にあまり効果がなかった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	子ども総合学習塾開催日数	14日 (18日)	学務課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】開催日数を増やすことができたが、参加児童数が大きく減少した。原因の把握に努め、利用しやすい環境づくりをしながら継続する。	【特記事項】子どもたちの参加を促すために、参加しやすい適正な開催期間と継続して参加意欲のわくプログラム提供の2点を工夫してもらいたい。			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成28年度				平成29年度		担当		
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)	
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値					評価指標	目標値 (現状値)
4	<b>児童交流事業実行委員会事業</b>		児童事業参加児童数	30人 (30人)	25人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	児童事業参加児童数	30人 (25人)	生涯学習課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 児童の交流支援を行い、地域理解と互いに支え合う人材の育成を図る。	【特記事項】			
5	<b>子ども読書週間推進事業</b>		お話し会開催数	23回 (23回)	23回	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	お話し会開催数	23回 (23回)	生涯学習課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 本の読み聞かせ活動・図書資料の紹介等を通して、乳幼児・児童・生徒の読書習慣づくりに努める。	【特記事項】			
6	<b>特別支援教育支援員事業</b>		特別支援教育支援員数	11人 (11人)	11人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	特別支援教育支援員数	11人 (11人)	学務課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 支援の体制等を検討しながら継続する。	【特記事項】			
7	<b>子ども会ジュニアリーダー会事業</b>		ジュニアリーダー数	15人 (13人)	13人	B 地方創生に相当程度効果があった	4 予定通り事業終了	A 総合戦略の推進に有効			生涯学習課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 単独の事業実施はせず、子ども会育成連合会事業に統合一本化して、その中でリーダーの育成をしていく。	【特記事項】			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成28年度				平成29年度		担当		
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)	
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値					評価指標	目標値 (現状値)
8	<b>家庭教育支援事業</b>		家庭教育講座参加者数	250人 (118人)	417人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	家庭教育講座参加者数	420人 (417人)	生涯学習課
	事業概要・目的						取組内容				
9	<b>藤崎町文化センター自主事業</b>		自主事業公演回数	4回 (4回)	4回	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	自主事業公演回数	4回 (4回)	生涯学習課
	事業概要・目的						取組内容				
10	<b>国際交流事業</b>		凧フェスタ参加者数	1,000人 (1,000人)	0人 (雨天の為中止)	/	2 事業を継続する	/	凧フェスタ参加者数	1,000人 (0人)	生涯学習課
	事業概要・目的						取組内容				
11	<b>郷土クラブ事業</b>		郷土クラブ事業参加児童数	20人 (20人)	23人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	郷土クラブ事業参加児童数	23人 (23人)	生涯学習課
	事業概要・目的						取組内容				

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成28年度				平成29年度		担当		
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)	
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値					評価指標	目標値 (現状値)
12	<b>NPO法人文化協会活動事業</b>		文化協会所属団体数	48団体 (48団体)	団体 46 個人 5 賛助会員 1	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する  【方針の詳細】 町文化協会の活動支援を継続する。	A 総合戦略の推進に有効  【特記事項】	文化協会所属団体数	団体 46 個人 5 賛助会員 1  (団体 46) (個人 5) (賛助会員 1)	生涯学習課
	事業概要・目的	取組内容									
13	<b>中学生海外派遣事業</b>						【方針の詳細】		中学生海外派遣参加生徒数	12人 (0人)	学務課
	事業概要・目的	取組内容									
	町における芸術・文化の交流を図り、芸術・文化の発信拠点となる活動を支援する。										
	芸術・文化の町民交流機会を増加するため、所属団体の活動活性化に努める。										
	次代を担う中学生が外国での生活を通して異なる文化や伝統を見聞して理解を深め、国際感覚を養うことにより、国際社会に貢献できる人材の育成と中学校の国際理解教育の推進に資するため実施する。										
	町内に住所を有する中学2年生を対象に海外でのホームステイ・学校体験を実施する。										

(3) みんながチャレンジできる環境づくり

オールふじさき！みんなでアクション！		計画期間の数値目標			達成状況（実績値）				
指標		当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32
誰かの小さなチャレンジを みんなで全力応援！		189人 (H26)	225人 (H32) ※5年で20%増加	257人	343人				

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成28年度				平成29年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
1	<b>人材育成推進事業</b>		生涯学習指導者人材バンク登録者数	100人 (88人)	88人	B 地方創生に相当程度効果があった	5 事業を中止する 【方針の詳細】 地域づくりに取り組む人材を育成するための、実践的な学習機会の提供を検討する。	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効 【特記事項】	/	/	生涯学習課
	事業概要・目的	取組内容									
ボランティアのスキルアップ研修と実践活動を通して、社会参画意欲の高揚とコミュニケーション能力及び企画能力の向上を図る。		生涯学習指導者人材バンクの更新を行い、住民の生涯学習活動とボランティア活動の推進に努める。									
2	<b>いきいき生活大学事業</b>		いきいき生活大学受講者数	300人 (257人)	343人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する 【方針の詳細】 地域資源を活用しながら、各世代にふさわしい魅力的な学習の機会を提供する。	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】	いきいき生活大学受講者数	377人 (343人)	生涯学習課
	事業概要・目的	取組内容									
町内外から講師を招き、町民の生きがいや潤いのある生活の手助けとなるような講座を開催。地域課題・歴史文化・健康・趣味の4領域においていきいき生活大学を通して、町民が生きがいにつながるような学習の場の提供を図る。		藤崎・常盤公民館講座を一本化するなど、町民のニーズに合った講座の開催に努める。									
3	<b>人材育成セミナー事業（実践型地域雇用創造事業）</b>		セミナー参加者数	30人 (0人)	43人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する 【方針の詳細】 H28年度の実績を受けて、内容の調整と充実を図りながら、H30年度までの継続実施を目指す。	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】	セミナー参加者数	45人 (43人)	地方創生推進室
	事業概要・目的	取組内容									
地域求職者向けの商品企画・開発スキルを習得するセミナーや6次産業化に向けた、食品製造・食品加工技術を習得するセミナーを開催し、地域求職者のチャレンジを支援する。		藤崎町産業創造協議会の事業推進員が各種セミナーを企画運営し、ホームページ等で情報提供する。									

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成28年度				平成29年度		担当		
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)	
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値					評価指標	目標値 (現状値)
4	<b>若手農業者の会「ワゲモンド」支援事業</b>		若手農業者の会 「ワゲモンド」 会員数	27人 (24人)	23人	B 地方創生に 相当程度効果が あった	2 事業を継続 する	A 総合戦略の 推進に有効	若手農業者の会 「ワゲモンド」 会員数	27人 (23人)	農政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 新規就農希望者へ 入会案内をすると ともに、組織の活 動に対するバック アップを継続す る。	【特記事項】			
	若手農業者で組織する会「ワゲモンド」の チャレンジを支援することで、地元農産物の PRや栽培技術向上に取り組むとともに、将来 的な新規就農者の増加につなげる。	若手農業者の新たな販 路開拓や独自商品づく り等を支援するため、 首都圏での直売会や地 域PRグッズの制作等 を実施する。									

<基本目標③> 結婚・子育ての希望をかなえる“みらい”を創生する

概要	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32
地域全体で男女の出会いを応援し、出会いの場づくりなどの支援を行うことで、晩婚化や未婚化を解消する。妊婦や子育て家庭をサポートする環境づくりや子育てサービスの推進など、若い世代の結婚・子育ての希望をかなえる“みらい”を創る。これにより合計特殊出生率上昇と人口自然減抑制を図り、将来の町の人口構造安定化につなげる。	■合計特殊出生率	1.28 (H20~24)	現状より増加 (H32)		未公表 (H25~29)				
	■結婚の支障理由に「異性と出会う機会がない」「収入が少なく将来の生活が不安」を挙げる人の割合	53.8% (H27)	現状より減少 (H32)	未計測	未計測				
	■希望の子どもの数を持っていない理由に「子育てや教育にお金がかかる」を挙げる人の割合	65.9% (H27)	現状より減少 (H32)	未計測	未計測				

※5年毎公表

(1) 出会いから始まる婚活の支援

概要	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32
オールふじさき！みんなでアクション！									
出会いから始まる恋物語 地域みんなのサポートで！	■（仮称）ふじさき出会い応援団の構成団体の組織化	（仮称）ふじさき出会い応援団の組織化	10団体 (H32) ※5年で10団体増加	未組織化	未組織化				

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成28年度				平成29年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
1	<b>ふじさき出会い応援事業</b>		婚活イベント参加者数	60人 (0人)	60人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する 【方針の詳細】 次年度は、本事業のプロモーションに注力し、婚活イベント参加率を上げることで、更に男女の出会いを応援することとする。	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】	婚活イベント参加率（婚活イベントの定員に対する参加者数の割合）	95.0% (90.9%)	住民課
	事業概要・目的	取組内容									
2	<b>若者の魅力アップ支援事業</b>		セミナー参加者数	45人 (0人)	41人	A 地方創生に非常に効果的であった	4 予定通り事業終了 【方針の詳細】 次年度は、ふじさき出会い応援事業のプロモーションに注力することとし、本事業は終了とする。	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】	/	/	住民課
	事業概要・目的	取組内容									

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成28年度				平成29年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
3	<b>出愛サポートセンター事業</b>		出愛サポートセンターを利用できる市町村数	8市町村 (1市)	8市町村	A 地方創生に非常に効果的であった	1 事業をさらに発展させる	A 総合戦略の推進に有効	出愛サポートセンターの登録者数	10人 (0人)	住民課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 次年度は、出愛サポートセンター事業を活用して、広域での男女の出会いを支援することとする。	【特記事項】			
4	<b>あおもり出会いサポートセンター事業</b>		サポートセンターへの婚活支援情報提供数	6件 (0件)	6件	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	サポートセンターへの婚活支援情報提供数	4件 (6件)	住民課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 次年度においても、引き続き当町で実施する婚活イベント（出会い応援イベント）の情報を提供し、男女の出会いを支援することとする。	【特記事項】			

(2) 安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり

オールふじさき！みんなでアクション！		計画期間の数値目標			達成状況（実績値）				
指標		当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32
子どもたちに笑顔であいさつ！みんなで見守る地域の子育て		■（仮称）ふじさき子育て応援団の構成団体数	（仮称）ふじさき子育て応援団の組織化 ※5年で30団体増加	30団体（H32）	5団体	6団体			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成28年度				平成29年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
1	<b>放課後学童保育体制充実事業</b>		学童保育登録児童数	229人 (247人)	233人	A 地方創生に非常に効果的であった	1 事業をさらに発展させる	A 総合戦略の推進に有効	学童保育登録児童数	233人 (233人)	住民課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】子ども・子育て新制度の施行により、放課後健全育成事業の対象が、「概ね10歳未満の小中学生」から「小学校に就学している児童」に改正されたことから、対象の拡大について検討することとする。	【特記事項】			
2	<b>一時預かり・延長保育事業</b>		一時預かり保育実施保育所（園）数 延長保育（促進）実施保育所（園）数	5か所 (5か所) 7か所 (7か所)	5か所 7か所	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	一時預かり保育実施保育所（園）数 延長保育（促進）実施保育所（園）数	5か所 (5か所) 7か所 (7か所)	住民課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】次年度においても、引き続き一時預かり・延長保育事業を実施し、子育て世帯を支援することとする。	【特記事項】			
3	<b>病児保育事業</b>		病児保育実施保育所（園）数	1か所 (0か所)	1か所	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	病児保育実施保育所（園）数	2か所 (1か所)	住民課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】次年度においても、引き続き病児保育事業を実施し、子育て世帯を支援することとする。また、本事業を実施する施設を増やすことについて、検討することとする。	【特記事項】			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成28年度				平成29年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
4	<b>乳幼児及び子どもの医療費助成事業</b>		助成対象児童数	1,609人 (980人)	1,680人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	助成対象児童数	1,693人 (1,680人)	住民課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 次年度においても、引き続き医療費助成を行い、子育て世帯を支援することとする。	【特記事項】			
5	<b>出産祝金事業</b>		支給対象者数	18人 (18人)	15人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	支給対象者数	18人 (15人)	住民課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 次年度においても、引き続き第3子以上への祝金を支給し、子育て世帯を支援することとする。	【特記事項】			
6	<b>子育てサポート事業</b>		子育て応援団の構成団体数	15団体 (5団体)	6団体	D 地方創生にあまり効果がなかった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	子育て応援団の構成団体数	10団体 (6団体)	住民課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 次年度においても、事業所・団体等に声掛けをし、登録団体を増やすための取組を継続することとする。	【特記事項】 子どもへのプレゼントなど身近なサービスで事業者が参加できる点等PRして登録を増やし、地域の子育て環境向上をしてもらいたい。			
7	<b>すこやか健診（相談）事業</b>		すこやか健診受診率（乳児健診）	97.8% (97.8%)	91.60%	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	すこやか健診受診率（乳児健診）	95.0% (91.6%)	福祉課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 検証を行い、現状に沿った対策を実施していく。	【特記事項】			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成28年度				平成29年度		担当		
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)	
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値					評価指標	目標値 (現状値)
8	<b>放課後子ども教室推進事業</b>		わんぱく教室・子どもふれあい教室参加児童数	1,200人 (1,187人)	1,000人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	わんぱく教室・子どもふれあい教室参加児童数	1,200人 (1,000人)	生涯学習課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 放課後児童健全育成事業と連携しながら、わんぱく広場・子どもふれあい教室を開設する。	【特記事項】			
9	<b>地域子育て支援拠点事業</b>		子育て支援拠点施設数	2か所 (2か所)	2か所	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	子育て支援拠点施設数	2か所 (2か所)	住民課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 次年度においても、藤崎保育所・ときわ保育園を子育て支援拠点施設として、地域全体で子育て世帯を支援することとする。	【特記事項】			
10	<b>ひとり親家庭等医療費助成事業</b>		給付対象者数	505人 (525人)	571人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	給付対象者数	505人 (571人)	住民課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 次年度においても、引き続きひとり親家庭への医療費助成を行い、子育て世帯を支援することとするが、ひとり親家庭を減らすための取組について検討することとする。	【特記事項】			
11	<b>子育て支援WEBサイト制作事業</b>		子育てウェブサイトアクセス数	2,000件 (0件)	607件	C 地方創生に効果があった	1 事業をさらに発展させる	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	子育てウェブサイトアクセス数	1,200件 (607件)	住民課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 次年度は、WEBサイトの新着情報を更に充実させて、アクセス数を増やす取組を実施することとする。	【特記事項】			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成28年度				平成29年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
12	<b>特定不妊治療費助成事業</b>		特定不妊治療助成件数	9件 (9件)	12件	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	特定不妊治療助成件数	12件 (12件)	福祉課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 今後も周知を行い継続していく。	【特記事項】			
13	<b>ブックスタート事業</b>		ブックスタート事業実施回数	6回 (6回)	6回	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	ブックスタート事業実施回数	6回 (6回)	生涯学習課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 町ブックスタート友の会の協力による、乳児健診時の絵本無償提供、周知活動を継続する。	【特記事項】			
14	<b>予防接種事業</b>		予防接種率（おたふく風邪）	80% (75.6%)	66.2%	B 地方創生に相当程度効果があった	1 事業をさらに発展させる	A 総合戦略の推進に有効	予防接種率（おたふく風邪）	80% (66.2%)	福祉課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 おたふく風邪について継続、接種率向上につとめる。また、不活化ポリオの就学前追加接種を加える。	【特記事項】			
	事業概要・目的	取組内容									

<基本目標④> いきいきと活力ある“まち”を創生する

概要	計画期間の数値目標		達成状況（実績値）						
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32
若者のまちづくりへの参画促進によるコミュニティ活性化、町民の主体的健康づくりと食生活改善、安心して快適に暮らせるまちづくりなど、地域資源や人材を活かした施策連携により、いきいきと活力あるまちを創生し、みんなが心豊かに共生できるまちづくりを推進する。	■町平均寿命 男性は全国との格差縮小 女性は現状維持	男性77.5歳 女性86.4歳 (H22町)	男性79.6歳 女性86.4歳 (H22全国)	未公表 (市町村別生命表)	—	—	—	—	—
	■公共施設巡回バス利用者	24,901人 (H24)	26,800人 (H32) ※5年で7%増加	23,029人	24,179人				

※5年毎公表

(1) みんなのまちづくり活動の支援

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標		達成状況（実績値）						
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32
まちづくりの第一歩 ボランティアにみんなで参加！	■ふじさき地域活性化助成事業活用団体数	7団体 (H26)	12団体 (H32) ※5年で5団体増加	9団体	9団体				

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成28年度				平成29年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
1	<b>コミュニティ助成事業</b>		一般コミュニティ助成事業申請団体数	6団体 (6団体)	6団体	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する  【方針の詳細】 申請は6団体、交付決定は2団体であった。交付不決定団体もあるので、申請を継続するなど対応する。	A 総合戦略の推進に有効  【特記事項】	一般コミュニティ助成事業申請団体数	6団体 (6団体)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容									
2	<b>ふじさき地域活性化助成金事業</b>		ふじさき地域活性化助成事業活用団体数	10団体 (9団体)	9団体	A 地方創生に非常に効果的であった	1 事業をさらに発展させる  【方針の詳細】 交付期間を5年延長するなど、地域の活性化につながるよう制度の改善と周知を図る。	A 総合戦略の推進に有効  【特記事項】	ふじさき地域活性化助成事業活用団体数	10団体 (9団体)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容									

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成28年度				平成29年度		担当		
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)	
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値					評価指標	目標値 (現状値)
3	<b>まちづくり団体交流事業</b>		まちづくり団体交流会参加人数	60人 (57人)	58人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	まちづくり団体交流会参加人数	60人 (58人)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】活性化助成金交付団体のみならず、その他町内会の参加もあり、今後のさらなる交流や助成金の活用を図る。	【特記事項】			
4	<b>まちづくり座談会事業</b>		まちづくり座談会参加者数	30人 (0人)	27人	A 地方創生に非常に効果的であった	3 事業内容を見直す	A 総合戦略の推進に有効	まちづくり座談会実施回数	1回 (2回)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】広聴としての効果はあったが、より幅広い意見を取り入れるため、対象を絞るなど実施方法を見直ししながら実施する。	【特記事項】			
5	<b>各種審議会委員公募事業</b>		各種審議会等の公募委員数	2人 (0人)	1人	D 地方創生にあまり効果がなかった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	各種審議会等の公募委員数	2人 (1人)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】応募者数が伸び悩んでいる状況のため、周知方法などを再検討し、応募者の増を図る。	【特記事項】効果的に広報宣伝しながら、住民が積極的に町の運営に関わる体制を強化していただきたい。			
6	<b>ボランティア連絡協議会事業</b>		ボランティア登録者数	3,680人 (3,613人)	3,613人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	ボランティア登録者数	3,613人 (3,613人)	福祉課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】協議会加盟の各団体との連携・調整・連絡体制を維持するため継続する。	【特記事項】			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成28年度				平成29年度		担当		
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)	
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値					評価指標	目標値 (現状値)
7	<b>老人クラブ事業</b>		老人クラブ会員数	1,540人 (1,521人)	1,521人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	老人クラブ会員数	1,540人 (1,521人)	福祉課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 これまでと同様に自主的な組織運営の成果を図ることにより、生きがいのある元気な高齢者の社会を作る。	【特記事項】			
8	<b>介護予防事業</b>		介護教室参加者数	165人 (157人)	183人	A 地方創生に非常に効果的であった	1 事業をさらに発展させる	A 総合戦略の推進に有効	介護教室参加者数	200人 (183人)	福祉課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 新しい介護予防教室を創設する。	【特記事項】			
	事業概要・目的	取組内容									

(2) いきいき健康づくりの推進

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32
毎日がチャレンジデー！みんなで1日15分の運動！	■スポーツプラザ藤崎利用者数	66,421人 (H26)	70,000人 (H32) ※5年で5%増加	44,271	72,203				

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成28年度				平成29年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
1	<b>各種健診事業</b>		特定健診受診率	60% (47.6%)	47.0%	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する 【方針の詳細】 受診勧奨を強化しながら継続していく。	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効 【特記事項】	特定健診受診率	60% (47.0%)	福祉課
	事業概要・目的	取組内容									
生活習慣病予防対策の一環として疾患の早期発見・治療並びに町民の健康保持増進を図るため、適切な生活習慣改善指導や医療に結びつける。		広報等に加え、健康推進員を通じた受診勧奨を実施する。									
2	<b>健康相談及び健康教育事業</b>		健康講座開催数	9回 (9回)	9回	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する 【方針の詳細】 粘り強く継続していく。	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】	健康講座開催数	9回 (9回)	福祉課
	事業概要・目的	取組内容									
健康増進法に基づく健康相談及び健康教育地域住民の健康づくり及び生活習慣病予防を目的とする。		健診結果説明会や個別訪問を行い、健診結果の見方を説明しながら相談や健康教育を実施する。また、健康講座を実施し、生活習慣病予防に努める。									
3	<b>健康推進員会事業</b>		健康推進員数	126人 (126人)	126人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する 【方針の詳細】 地域の健康作りに資するため、継続していく。	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】	健康推進員数	126人 (126人)	福祉課
	事業概要・目的	取組内容									
健康推進員会の運営費及び活動費に対する助成		健康推進員が各種健診の申込みや受診勧奨を行い、保健活動を推進するとともに、ふじさきいきいき健康体操の普及活動を実施する。									
住民一人ひとりが生涯を通じて健康で心豊かに生活できるよう健康保持増進に寄与するとともに、地域ぐるみの健康づくり体制を確立することを目的とする。											

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成28年度				平成29年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
4	<b>食生活改善推進員会事業</b>		食生活改善推進員数	44人 (44人)	38人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する 【方針の詳細】食を通じて健康づくりに資するため、会員を確保しながら継続していく。 【特記事項】	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	食生活改善推進員数	40人 (38人)	福祉課
	事業概要・目的	取組内容									
食生活改善推進員会への助成 地域住民に対し組織的、継続的に健康づくり活動を行う。		栄養教室等の開催により町民の食生活改善を実施する。									
5	<b>藤崎町チャレンジデー事業</b>		チャレンジデー参加率	60% (58.7%)	50.7%	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する 【方針の詳細】町民の健康づくりと体力づくりを進めるとともに、地域間の連携を深める。 【特記事項】	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	チャレンジデー参加率	55% (50.7%)	生涯学習課
	事業概要・目的	取組内容									
毎年5月第4水曜日、全町民を対象にチャレンジデーに参加。町民の健康づくり、体力づくりとともに、町民の連携を深める。全国規模の事業で、対戦相手もあり、地域間交流にもつながる。		町民の健康づくりと体力づくりとともに、地域間連携を深めるために、チャレンジデーの日は、1人1日15分の運動を行うようにする。									
6	<b>NPO法人藤崎町体育協会事業</b>		いきいきスポーツクラブ参加者数	5,200人 (5,067人)	5,297人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する 【方針の詳細】体育・スポーツを振興し、町民の健康増進とスポーツ精神の高揚を図る。 【特記事項】	A 総合戦略の推進に有効	いきいきスポーツクラブ参加者数	5,400人 (5,297人)	生涯学習課
	事業概要・目的	取組内容									
体育・スポーツに関する各種事業の実施、援助、啓発、指導及び奨励 体育・スポーツを振興し、町民の健康増進とスポーツ精神の高揚を図る。		各種スポーツイベントやスポーツ教室等を実施し、町民の健康増進を図る。									
7	<b>がん検診事業</b>		胃がん検診受診率（40歳以上）	40% (37%)	38%	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する 【方針の詳細】受診勧奨を強化しながら継続していく。 【特記事項】	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	胃がん検診受診率（40歳以上）	50% (38%)	福祉課
	事業概要・目的	取組内容									
死亡原因として増加傾向にあるにもかかわらず検診受診率の低いがん検診について、受診利便性を向上させ、受診率向上、がんの早期発見・早期治療につなげる。		医療機関に委託して実施するとともに、町の集団検診として2会場で実施する。									

(3) 安心して暮らせる生活環境づくり

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32
避難所までのルートや避難方法 地域みんなで確認！	■自主防災組織数	1団体 (H26)	5団体 (H32) ※5年で4組織増加	2団体	5団体				

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成28年度				平成29年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
1	<b>生活トラブル等の相談体制の確立事業</b>		相談窓口開設回数	2回 (2回)	2回	A 地方創生に非常に効果的であった	1 事業をさらに発展させる	A 総合戦略の推進に有効	相談窓口開設回数	2回 (2回)	総務課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 開設回数では評価できるが、相談件数が少ない状況であるので、今後、住民が気軽に相談できる体制と周知方法等を充実させていく。	【特記事項】			
2	<b>防災訓練事業</b>		防災訓練参加者数	700人 (690人)	600人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	防災訓練参加者数	700人 (600人)	総務課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 防災訓練の中で自主防災組織等との共助の体制を明確化し継続していく。	【特記事項】			
3	<b>自主防災組織整備事業</b>		自主防災組織数	4団体 (2団体)	5団体	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	自主防災組織数	8団体 (5団体)	総務課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 各町内会に働きかけ、平成33年度までに20団体組織する。	【特記事項】			
	災害時初動対応の迅速化や避難所の周知徹底を図るために、自主防災組織の整備を促進し、地域での自主的な防災訓練等を実施する。										

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容	平成28年度					平成29年度		担当	
		重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価	重要業績評価指標 (KPI)		
		評価指標	目標値 (現状値)	実績値				評価指標		目標値 (現状値)
4	<b>災害時要援護者対策事業</b>	事業概要・目的 地域防災計画において避難行動要支援者の要件等を定め、具体的な名簿や具体的な活用マニュアルを作成し、災害時の避難支援体制の充実を図る。また、一般の避難所で対処できない障がい者などの方を避難させる福祉避難所の運用マニュアルを作成し、非常時に迅速に対応できる体制作りを進める	取組内容 避難行動要支援者名簿の作成及び行動計画等の周知、福祉避難所との連携強化による災害時の即応力を強化する。	避難行動要支援者名簿登録者数 700人 (670人)	670人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する 【方針の詳細】 情報を継続して管理していく。	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効 【特記事項】	避難行動要支援者名簿登録者数 700人 (670人)	福祉課
	事業概要・目的 防犯指導隊、交通指導隊等と連携し防犯強化に努め安心安全な町を目指す。						取組内容 各種防犯大会への参加やイベント時の周辺パトロール、地域への巡回活動を実施する。	地域防犯パトロール回数 16回 (16回)		
5	<b>防犯パトロール強化事業</b>	事業概要・目的 防犯指導隊、交通指導隊等と連携し防犯強化に努め安心安全な町を目指す。	取組内容 各種防犯大会への参加やイベント時の周辺パトロール、地域への巡回活動を実施する。	地域防犯パトロール回数 16回 (16回)	17回	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する 【方針の詳細】 町の交通事故件数は減少傾向にあるが、高齢者による交通事故等の割合が増加していることから、今後も事業を継続する。	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】	交通事故件数 55件 (60件)	まだ公表されていない
	事業概要・目的 交通安全母の会による交通安全教室や街頭指導を行い、交通安全意識の高揚と交通事故防止を図る。						取組内容 交通安全教室等の開催により、交通事故件数を減少させる。	交通安全事件数 55件 (60件)		
6	<b>交通安全推進事業</b>	事業概要・目的 交通安全母の会による交通安全教室や街頭指導を行い、交通安全意識の高揚と交通事故防止を図る。	取組内容 交通安全教室等の開催により、交通事故件数を減少させる。	交通安全事件数 55件 (60件)	まだ公表されていない	交通安全事件数 55件 (60件)	2 事業を継続する 【方針の詳細】 H29年度実施予定 詳細設計 2カ所 補修工事 3カ所	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】	交通安全事件数 55件 (60件)	まだ公表されていない
	事業概要・目的 交通安全母の会による交通安全教室や街頭指導を行い、交通安全意識の高揚と交通事故防止を図る。						取組内容 交通安全教室等の開催により、交通事故件数を減少させる。	交通安全事件数 55件 (60件)		
7	<b>橋梁長寿命化事業</b>	事業概要・目的 橋梁について点検・調査を行い計画的な補修事業を進め安全な交通を確保する。	取組内容 町内に架かる橋を計画的に点検・補修工事を行い、町民の安全を確保する。	長寿命化修繕計画で補修が必要な橋梁数 29ヶ所 (30ヶ所)	29ヶ所 若松橋補修工事実施(1ヶ所)	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する 【方針の詳細】 H29年度実施予定 詳細設計 2カ所 補修工事 3カ所	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】	長寿命化修繕計画で補修が必要な橋梁数 26ヶ所 (29ヶ所)	建設課
	事業概要・目的 橋梁について点検・調査を行い計画的な補修事業を進め安全な交通を確保する。						取組内容 町内に架かる橋を計画的に点検・補修工事を行い、町民の安全を確保する。	長寿命化修繕計画で補修が必要な橋梁数 29ヶ所 (30ヶ所)		

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成28年度				平成29年度		担当		
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)	
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値					評価指標	目標値 (現状値)
8	<b>LED防犯灯設置事業</b>		LED防犯灯設置率	97.5% (96.1%)	99.60%	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	LED防犯灯設置率	100% (99.6%)	総務課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】平成29年度でLED化が完了することから、今後は維持管理事業を継続する。	【特記事項】			
9	<b>分別・リサイクル活動推進事業</b>		町民1人当たりのごみ排出量	889kg (889kg)	998kg	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	町民1人当たりのごみ排出量	889kg (998kg)	住民課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】広報等を利用し、ごみ減量及びリサイクルの推進を図る。小型家電ボックス及びイベント回収の推進を図る。	【特記事項】			
10	<b>資源ごみ回収運動推進事業</b>		資源ごみ回収率	12.6% (12.6%)	11.30%	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	資源ごみ回収率	12.6% (11.30%)	住民課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】町団体に対し、資源ごみ回収量に応じた報償金を交付して資源ごみ回収運動の推進を図る。	【特記事項】			
11	<b>弘前圏域消費生活相談体制整備事業</b>		広報等での周知回数	2回 (0回)	0回	D 地方創生にあまり効果がなかった	3 事業内容を見直す	C 総合戦略の推進に有効とは言えない	広報等での周知回数	2回 (0回)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】周知が全くなかったため、補助事業を活用し、より積極的な周知を図る。	【特記事項】			
	省エネルギーを推進するために、防犯灯を蛍光灯から消費電力の少ないLEDに取り替える。	防犯灯をLEDに取り替えて、省エネルギーを推進する。									
	ごみの減量化・資源化の推進、適正排出を行い、資源を大切に有効利用する心を育て、一人当たりの排出量の削減を図る。	広報等を活用し、分別への協力及び排出方法の指導を実施する。また、小型家電の分別も行う。									
	町の清掃事業に協力した団体に対し、再生可能な資源の回収量に応じて報償金を交付し、資源ごみ回収運動の推進を図る。	ごみを資源として活用するため、資源ゴミの回収について、今後も周知・啓発を図る。									
	弘前圏域の8市町村が消費生活に関する相談等を広域的に連携して行うことにより、住民サービスの向上に資することを目的とする。	相談窓口である弘前市民生活センター（ヒロ口）を周知し、有効活用を促す。									

(4) 快適で住みやすいまちづくり

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32
まちの豊かな自然や雄大な景観 みんなでもっと自慢しよう！	■資源ごみ回収量	309t (H26)	340t (H32) ※5年で10%増加	178t	164t				

※資源ごみ回収補助金の単価減 H26年度：4円/kg → H27年度：3円/kg → H28年度：2円/kg

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成28年度				平成29年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
1	<b>巡回バス等交通ネットワーク再構築事業</b>		町巡回バスの利用者数	25,250人 (23,029人)	24,179人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する 【方針の詳細】費用対効果の面で運行台数や便数の増等の結論には至らなかったが、今後も既存保有バスの利活用も含め継続して検討を進め、利便性の向上を図っていく。	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効 【特記事項】	町巡回バスの利用者数	25,250人 (24,179人)	総務課
	事業概要・目的	取組内容									
2	<b>福祉バス運行事業</b>		福祉バス利用回数	155回 (150回)	150回	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する 【方針の詳細】老人クラブや保育所等の各種団体に利用されており、冬期間の温泉送迎としても有効に活用していく。	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効 【特記事項】	福祉バス利用回数	155回 (150回)	福祉課
	事業概要・目的	取組内容									
3	<b>地球温暖化防止実行計画策定事業</b>		町の事務事業における二酸化炭素排出量	2,441,789kg-CO2 (2,466,454kg-CO2)	2,466,454kg-CO2	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する 【方針の詳細】庁舎の光熱水費等の抑制及び公用車ガソリン使用量の削減による温室効果ガスの排出量削減に努める。	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効 【特記事項】	町の事務事業における二酸化炭素排出量	2,441,789kg-CO2 (2,466,454kg-CO2)	住民課
	事業概要・目的	取組内容									

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成28年度				平成29年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
4	<b>汚泥コンポスト化推進事業</b>		汚泥コンポスト化率	100%	100%	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する 【方針の詳細】 産業廃棄物としてのゴミ減量化及び資源のリサイクル化に有効な手段のため今後も継続する。	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】	汚泥コンポスト化率	100% (100%)	上下水道課
	事業概要・目的	取組内容									
5	<b>人口ビジョン及び総合戦略事業</b>		/	/	PDCAサイクル運用に向けた施策パッケージ作成	/	2 事業を継続する 【方針の詳細】 施策パッケージにもとづいて、年度毎に実績を検証することでPDCAサイクルを実施する。	/	事業効果がA~Cの割合	80%	地方創生推進室
	事業概要・目的	取組内容									
	町の人口の将来展望を示す人口ビジョンを踏まえ、人口減少克服・地方創生を実現するため、自立性、将来性、地域性、直接性及び結果重視の5つの政策原則に基づく総合戦略を平成27年度に策定し、策定後は各施策の効果検証を行う。		平成27年10月に人口ビジョン及び総合戦略策定し、平成28年度から本格的な地方創生推進事業を展開するとともに、効果検証を行う。								